

TODA 産業レポート 2024年1月戸田市景気動向調査

調査概要

- 実施期間 2024年1月15日(月)～1月31日(水)
- 調査対象 市内事業者700社
- 調査方法 WEB調査 (対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)
- 回答状況 有効回答数 196 回答率 28.0%



調査結果のまとめ

戸市内企業の景況感について

	天気		景況感DI	概要
	前期		曇	
全体	現状		曇	8.21
	先行き		曇	15.90

概要: 市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向がみられたが、以前として低い水準にあり、見通しについては、再び悪化傾向となっている。生産高・売上高は若干の改善がみられたが、仕入価格の上昇が続いており、利益を創出しづらい状況が続いている。価格転嫁については、一部で若干の動きがみられるものの経常利益改善には結びついていない。雇用人員の不足により生産性の低下が懸念される。また、半導体や銅等の原材料の不足により製品在庫が減少した。
・前期から10.79ポイント改善している。見通しについては7.69ポイント減少と悪化傾向がみられる。

前期: R.5-4～9月、現状: R.5.10～3月、先行き: R.6.4～9月

分析についてはDI(景気動向指数: Diffusion Index)を使用

全体について

全体的に前期よりも改善がみられるものの、見通しについては悪化傾向にあり、今後も企業にとって厳しい状況が続く模様。
 ・「生産高・売上高」については、前回から6.27ポイント増加と改善した。
 ・「原材料・仕入価格」は前回から5.95ポイント減少したものの依然として全業種で高い水準となっており、利益を創出しづらい状況がうかがえる。

【企業業績に影響を与えた(る)外的要因予測】
 ○新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動の活性化 ○2024年問題(働き方改革関連法)
 ○原材料費、エネルギー関連費の高騰と価格転嫁 ○2025年問題(超高齢社会)
 ○コロナ対策関連融資(ゼロゼロ融資の返済開始等の資金繰り) ○諸外国の紛争問題

【特別調査】
 現状直面している経営課題としては、「収益性の向上」が一番多く、次に「人材の強化」が多かった。
 「採用活動において、課題と思われること、悩んでいること」においては、「求人に対する応募が少ない」、「優秀な人材がない」などが多く挙げられた。
 「シニア雇用で重視すること」としては、「業界経験者」が一番多く、次いで、「コミュニケーション力」が多かった。
 事業承継は、後継者が「いる/親族」と回答した企業が57社いる一方で、「後継者はいない/将来的に第三者を探す」「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当限り)」と回答した企業が多数を占め、引き続き注視する必要がある。

業種別

業種	天気		景況感DI	概要
	前期		曇	
建設業	現状		曇	0.00
	先行き		曇	11.43
	前期		曇/雨	41.86
製造業	現状		曇	12.82
	先行き		曇/雨	25.64
	前期		曇	17.24
卸売業/小売業	現状		曇/雨	28.00
	先行き		曇/雨	40.00
	前期		曇	12.50
飲食業	現状		晴/曇	33.33
	先行き		曇	16.67
	前期		曇	4.76
不動産業	現状		曇	5.56
	先行き		曇	0.00
	前期		曇	9.52
サービス業	現状		曇	12.20
	先行き		曇	7.32
	前期		曇/雨	20.00
運輸・通信業	現状		曇	0.00
	先行き		曇/雨	33.33
	前期		曇/雨	27.27
その他	現状		曇	8.00
	先行き		曇	12.00